



平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 2 月 17 日

上場会社名 駒井鉄工株式会社

(コード番号：5915 東証・大証第 1 部)

(URL <http://www.komai.co.jp/>)

問合せ先 代表者 取締役社長

氏名 笠畑 恭之

責任者 取締役兼常務執行役員

氏名 海老澤 正博

TEL (03) 3833-5101

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
影響額が僅少なものにつき一部簡便的な方法を採用しております。
- ②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
当期より固定資産の減損に係る会計基準を適用しております。
また、当期より連結子会社である東北鉄骨橋梁株式会社の完成工事高の計上基準を変更しております。
- ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期の財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	20,888	—	△866	—	△849	—	△3,531	—
17年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
(参考) 17年3月期	30,159		△984		△922		△629	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株あたり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第3四半期	△98.28	—
17年3月期第3四半期	—	—
(参考) 17年3月期	△17.34	—

(注) 四半期財務情報の開示は当第 3 四半期から行っておりますので、前年第 3 四半期実績及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期における当社グループを取巻く環境、とりわけ橋梁事業におきましては、国・地方自治体の財政難による公共事業縮減など長期にわたり低迷状態が続いております。加えまして、当社は、昨年公正取引委員会から独占禁止法違反の容疑で告発されたことにより、国土交通省及び各自治体等の発注者より行政処分（指名停止措置）を受けており、厳しい状況で推移いたしました。一方、鉄骨事業におきましては、首都圏を中心とする再開発が活発なこともあり概ね順調に推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループとして鋭意工事の消化に努めましたが、当社グループの売上高のうちの公共事業工事におきましては、発注者の予算の関係上、工期が年度末に集中するため売上高は第 4 四半期に集中するという季節変動があります。よって、当第 3 四半期の業績につきましては、売上高は橋梁 87 億円、鉄骨 119 億円に不動産事業売上高 2 億円を加えまして 208 億円、経常損失は 8 億 4 千 9 百万円となりま

した。また、固定資産減損損失を特別損失に、固定資産売却益及び投資有価証券売却益を特別利益に計上いたしましたので、四半期純損失は35億3千1百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	63,596	32,484	51.1	904.33
17年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考) 17年3月期	58,608	35,820	61.1	996.67

(注) 四半期財務情報の開示は当第3四半期から行っておりますので、前年第3四半期実績は記載しておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末の財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度より49億8千8百万円増加しております。その内訳は、資産の部では流動資産が94億6千4百万円増加、固定資産が44億7千5百万円減少しております。また負債の部では流動負債が63億5千7百万円増加、固定負債が19億6千6百万円増加しております。株主資本は33億3千5百万円の減少となっております。

増加の主な理由といたしましては、経営成績の定性的情報等にも記しているように、当社グループの売上高のうちの公共事業工事につきましては、発注者の予算の関係上、工期が年度末に集中するため売上高は第4四半期に集中するという季節変動があることにより、流動資産の未成工事支出金等が82億4千3百万円増加、流動負債の未成工事受入金が51億7千5百万円増加したことによるものであります。また、減少の主な理由といたしましては、当期より固定資産の減損に係る会計基準を適用したことによるものであります。

[業績予想に関する定性的情報等]

通期の業績予想につきましては、平成17年12月13日発表の業績予想を変更しておりません。なお、鋼鉄製橋梁談合事件に関し、公正取引委員会の排除勧告を応諾したことにより発生する課徴金等につきましては、現時点では金額を合理的に見積もることが困難であるため、今回の業績予想には反映いたしておりません。

(注) 業績予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科 目	当四半期 (平成17年12月31日現在)		(参考) 前連結会計年度 (平成17年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)		%		%
I 流動資産				
現金預金	7,468		7,814	
受取手形・完成工事未収入金	8,072		8,273	
未成工事支出金等	17,956		9,712	
その他の	4,094		2,327	
貸倒引当金	△ 1		△ 0	
流動資産合計	37,590	59.1	28,126	48.0
II 固定資産				
有形固定資産	20,292		25,564	
無形固定資産	115		136	
投資その他の資産	5,598		4,781	
固定資産合計	26,005	40.9	30,481	52.0
資産合計	63,596	100.0	58,608	100.0
(負債の部)				
I 流動負債				
支払手形・工事未払金	10,723		10,071	
短期借入金	3,840		2,810	
一年以内償還予定社債	200		200	
未成工事受入金	9,993		4,817	
賞与引当金	53		189	
その他の	615		978	
流動負債合計	25,425	40.0	19,067	32.5
II 固定負債				
長期借入金	1,240		500	
繰延税金負債	3,009		1,755	
退職給付引当金	998		925	
役員退職慰労引当金	155		168	
事業構造改革引当金	101		189	
その他の	181		181	
固定負債合計	5,686	8.9	3,720	6.3
負債合計	31,111	48.9	22,788	38.9
(資本の部)				
I 資本金	6,619	10.4	6,619	11.3
II 資本剰余金	6,274	9.9	6,274	10.7
III 利益剰余金	17,906	28.2	21,653	36.9
IV その他有価証券評価差額金	1,926	3.0	1,438	2.5
V 為替換算調整勘定	△ 0	△ 0.0	△ 1	△ 0.0
VI 自己株式	△ 242	△ 0.4	△ 164	△ 0.3
資本合計	32,484	51.1	35,820	61.1
負債及び資本合計	63,596	100.0	58,608	100.0

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科 目	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)		(参考) 前連結会計年度 (平成17年3月期)	
	金 額	百分比	金 額	百分比
I 完成工事高	20,888	100.0	30,159	100.0
II 完成工事原価	19,823	94.9	28,390	94.1
完成工事総利益	1,064	5.1	1,769	5.9
III 販売費及び一般管理費	1,931	9.2	2,753	9.1
営業損失	866	4.1	984	3.3
IV 営業外収益	103	0.5	116	0.4
V 営業外費用	86	0.4	54	0.2
経常損失	849	4.1	922	3.1
VI 特別利益				
固定資産売却益	2,155		0	
投資有価証券売却益	903		31	
特別利益計	3,058	14.6	31	0.1
VII 特別損失				
減損損失	4,732		-	
その他	32		86	
特別損失計	4,764	22.8	86	0.3
税金等調整前四半期 (当期) 純損失	2,554	12.2	976	3.2
税金費用	976	4.7	△ 347	△ 1.2
四半期(当期) 純損失	3,531	16.9	629	2.1